

1ヶ月の生計申告書

私の1ヶ月の生活費について、以下のとおり申告します。

記入日 令和〇年〇月〇日

学生番号 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	学部 教育部・研究科 〇〇 学部 教育部 研究科	学科 課程・専攻 〇〇 学科 課程 専攻	学年 〇年
氏名 徳島 太郎			
通学区分 (該当の通学区分に〇印を付けてください。)	自宅から通学	自宅外から通学	

(学生生活を送る上での1ヶ月の平均生活費)

収入		支出	
1 生計維持者等からの仕送り (学費を除く)	15,000 円	1 食費	30,000 円
		2 住居費	35,000 円
2 アルバイト	35,000 円	3 光熱水費	10,000 円
		4 通学交通費	6,000 円
3 奨学金	51,000 円	5 教育費	10,000 円
		6 小遣い	10,000 円
4 その他 ( )	0 円	7 その他 ( )	0 円
合計	101,000 円	合計	101,000 円

※ 生活費が不足する場合は、以下の補填方法から選択（記入）してください。  
(※当てはまるものすべてに印を入れてください。)

預貯金から補填する。

生計維持者等から追加の仕送りを受ける。 ( ) 円

借入金で補填する。 (借入先: )

その他 ( )

※ アルバイト状況について以下に記載してください。(※複数ある場合は合算してください。)

※ 令和2年1月以降の2か月分で減少(50%以上減少)がわかるもの。  
(減少がわかるものが令和2年度に係るものである場合、令和3年度のアルバイト収入が改善していないことがわかるもの。)

※ アルバイトをしていない、又は収入がない場合は「0円」としてください。

※ アルバイト先の給与明細書、又は振込口座の預貯金通帳の写しを提出ください。やむを得ない理由により提出できない場合に限り、様式1「3. 申し送り事項」に提出できない理由を記入してください。提出できない理由の記載がない場合は、提出書類の不備となります。

(例) 令和2年度に居酒屋と電機店でアルバイトをしていたが、コロナ禍の影響により居酒屋が休業しアルバイト収入が減少した。令和3年度も引き続き新しいアルバイト先が決まっていない場合。

年月	収入額	勤務先
令和2年2月	45,000 円	居酒屋〇〇〇、△△△電機
令和2年7月	20,000 円	△△△電機
令和3年5月	20,000 円	△△△電機

※ 上記の記入内容に相違ありません。

署名 徳島 太郎 (※自筆)